第 28 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会 チーム参加募集要項	全日本プール チーム１次要項

2015 年 3 月 10 日

第28回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会
実行委員会

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、下記の通り「第 28 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会」を開催いたします。
つきましては開催にあたり参加選手の募集をさせていただきますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。
敬具

記

■日　　程　　2015 年　5 月 16 日（土）～17 日（日）
■場　　所　　横浜国際プール　（神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1）
・横浜市営地下鉄「北山田」駅から徒歩 5 分
■主　　催　　特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
■後　　援（予定）　文部科学省、神奈川県、日本水泳連盟、神奈川県水泳連盟、日本赤十字社
■協　　賛　　調整中
■協　　力（予定）　有限会社吉田三郎商店
■競技種目　　［個人種目］

※ 200m障害物スイム（女）
※ 200m障害物スイム（男）
※ 50mマネキンキャリー（女）
※ 50mマネキンキャリー（男）
※ 100mレスキューメドレー（女）
※ 100mレスキューメドレー（男）
※ 100mマネキンキャリー・ウィズフィン（女）
※ 100mマネキンキャリー・ウィズフィン（男）
※ 100mマネキントウ・ウィズフィン（女）
※ 100mマネキントウ・ウィズフィン（男）
※ 200mスーパーライフセーバー（女）
※ 200mスーパーライフセーバー（男）

［チーム種目］

4×50m障害物リレー（女）
4×50m障害物リレー（男）
4×25mマネキンリレー（女）
4×25mマネキンリレー（男）
4×50mメドレーリレー（女）
4×50mメドレーリレー（男）
ラインスロー（女）
ラインスロー（男）

［SERC 種目］

シミュレーテッド・エマジェンシー・レスポンス競技（SERC）

◆ 個人種目については、エントリーする条件として「エントリー標準タイム」を設定します（詳細は別紙「エントリー標準タイムについて」を参照してください）。
◆ 下線のある種目は、タイム決勝で行います。

◆ SERC 種目は、1 チーム 4 名とします。この競技に参加しないチームは、チーム総合の表彰対象となりませんのでご注意ください。また SERC 種目は、2008 年度より「必須種目」から他の種目と同様「エントリー種目」に変更しておりますので、SERC 種目に参加希望の場合は、必ず申込用紙Ｃの SERC 種目部分に「1」をご入力下さい。
◆ チーム種目および SERC 種目は、各チームから 1 チームのみのエントリーとします。
◆ チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められません。

■競技規則　JLA 競技規則 2014 年版に従って実施します。
※<u>ルールを十分に理解し出場して下さい。</u>

■タイムテーブル
別紙（昨年度版）ご参照下さい。
※ 確定版は、エントリー締切・集計後にご案内致します。

■得点方法　タイム決勝及び決勝の結果に対して得点が加算されます。個人、チーム種目および SREC 種目とも同じ得点とし、配点は下記の通りとします。

1 位-8 点、2 位-7 点、3 位-6 点、4 位-5 点、5 位-4 点、6 位-3 点、7 位-2 点、8 位-1 点

① チームの総合得点が同点の場合は、1 位の種目の多いチームを、1 位の種目が同数の場合は、2 位の種目の多いチームを…というように総合順位を決定します。
② 総合順位は、本大会で実施する 21 種目中、16 種目（実施種目の 80%）以上の最終競技結果をもって成立するものとします。
③ 決勝で失格の場合は 0 点とします。

■表　彰　各競技上位 1～8 位を入賞とします。1～3 位はメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により上位 1～3 位を表彰します。

■外国人選手（日本国以外に国籍を持つ者）の出場登録について
「オープン参加選手規定について」をご参照ください。

■参加費　①選手 1 名につき 6,000 円（※高校生は 2,500 円）
但し、個人種目のエントリーは、選手 1 名につき 2 種目までとし、チーム種目および SERC 種目はこの限りではありません。振込先については「大会エントリーの手引き」でご確認ください。
②<u>（本大会は、）申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能となります。但し、既にエントリーされている方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。</u>
<u>また、変更手数料として、１つの変更につき、3,000 円（※一般/高校生一律）の手数料を頂戴いたします。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。</u>
※ <u>期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。</u>
※ <u>個人種目・チーム種目・SERC 種目、全種目の変更が可能です。</u>

■代表者会議　競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議を 5 月 15 日（金）に開催します。詳細につきましては 2 次要項にてチーム代表者宛にご連絡いたします。

■観覧席　安全管理上、各チームの観戦席の区分を予め主催者側で決めさせていただきますのでご了承ください。詳細は 2 次要項にてお知らせいたします。

■Ｃ級審判員養成講習会
大会前にＣ級審判員養成講習会を開催いたします。詳細はホームページをご参照ください。

■その他　各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方は JLA ホームページ「委員会→競技運営審判委員会→競技成績証明書」を出力し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より 1 年以内の期間で受付をいたします。

■申込方法　「参加競技者募集要項」「大会参加規定」を熟読し、チーム単位でお申し込みください。提出物はデータファイル送信と書類の郵送がございます。詳細は「大会エントリーの手引き」でご確認の上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。

※申込締切：　2015 年 4 月 1 日（水）
メール（データ）提出；2015 年 4 月 1 日（水）24：00 受信分まで
郵送提出　　；2015 年 4 月 1 日（水）当日消印分まで

■提出物と締切のまとめ（詳細は「大会エントリーの手引き」をご確認ください）

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
書類関係	①選手申込用紙(A･B･C) エントリーエクセルデータ	メール提出	2015 年 4 月 1 日(水)24:00 受信分まで
	②選手申込用紙(D)の同意書	郵送提出	2015 年 4 月 1 日(水)当日消印有効
	③チームPRアンケート	郵送提出または FAX 提出	2015 年 4 月 1 日(水)24:00 受信分(FAX)、当日消印有効(郵送)
	④審判員･スタッフ申込用紙	郵送提出またはメール提出	2015 年 4 月 1 日(水)24:00 受信分(メール)、当日消印有効(郵送)
	⑤(新規または変更のみ) キャップ申請書	郵送提出またはメール提出	2015 年 4 月 1 日(水)24:00 受信分(メール)、当日消印有効(郵送)
	⑥(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の申込エクセルデータ	メール提出	2015 年 4 月 24 日(金)事務局からのスタートリスト受信時～4 月 30 日(木)24:00 受信分
費用関係	⑦大会参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、手続き下さい	2015 年 4 月 1 日(水)当日消印有効
	⑧会員登録及び個人(一般会員/正会員)年会費(2015 年度)※審判員も同様	http://www.jla.gr.jp/home.htm「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	
	⑨団体年会費(2015 年度)		
	⑩(エントリーミスによる出場種目の変更希望者のみ)　変更手数料	参加費の振込先と同様の口座	2015 年 4 月 30 日(木)当日消印有効

注）
※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。
※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。
※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体･個人会員の方(審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。
※参加申し込み締切り日までに、参加規定「11　認定審判員の選出」に基づく、認定審判員の書類提出がない団体は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。

■お申込み・お問合わせ先
日本ライフセービング協会事務局（業務時間：平日 9：00-18：00）
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18　トップスビル 1 階　TEL：03-3459-1445　FAX：03-3459-1446

第 28 回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会　参加規定

1　参加資格

競技者の参加資格は下記の 4 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1　競技者は、大会初日当日満 15 歳以上でなければならない。但し中学生を除く。

1-2　競技者は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去１年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、本協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した者でなければならない。

1-3　競技者は、本協会の個人正会員、個人一般会員もしくは個人高校生会員として登録されていなければならない（申請中も含む)。

1-4　エントリー標準タイムが設定されている種目では、当該種目のエントリー標準タイムを突破できる者（チーム代表の責任において申告すること）でなければならない。

2　チーム構成

2-1　チームは、本協会の団体正会員、もしくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、１団体からの出場は１チームとする。

2-2　チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

3　チーム名

参加チーム名は団体正会員もしくは団体一般会員名とする。

4　出場登録

4-1　参加選手は個人種目、チーム種目および SERC 種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない。

4-2　**申込に過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」ができる。但し、すでに出場登録がされている方のみ対象とし、新たな選手の出場登録はできない。**
なお、個人種目・チーム種目・SERC 種目の全種目について、変更できるものとする。

5　チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おかなければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。また、チーム代表者は必ず代表者会議に参加しなければならない。なお、止むを得ずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

6　チームユニフォーム及び競技中の衣類

6-1　各チームは､式典や表彰式および競技に適したユニフォーム､水着､キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。

6-2　ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。

6-3　キャップは、競技会の前に本協会に登録されていなければならない。

6-4　キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

6-5　チームのユニフォーム､水着､キャップ､ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。登録をしていないクラブは、別紙チームキャップ登録申請書を届出しなければならない。

6-6　SERC 種目において、チームリーダーは、主催者側で準備したキャップをかぶらなければならない。

7　表彰

7-1　日本ライフセービング協会理事長杯

総合優勝チームには理事長杯が贈られる。またチーム総合 1～3 位には表彰状を授与する。

7-2　種目別表彰

各競技上位 1～8 位は入賞とし、そのうち 1～3 位には表彰式にてメダルを授与する。

８　参加費

8-1　参加費は、出場する種目数にかかわらず１名につき 6,000 円とする（※高校生は 2,500 円）。
8-2　参加費は、参加申し込みの締切日までに支払わなければならない。
8-3　参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
8-4　参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。
8-5　**変更手数料（申込に過誤があった場合の、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」の手数料）は、１つの変更 につき、3,000 円とする（※一般/高校生 一律）。**
8-6　**変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。**
8-7　**出場種目の変更申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。**
8-8　**参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも、変更手数料は変換されない。**

９　競技器材

9-1　競技で使用する器材はライフセービング競技規則「競技器材の規格」の基準を満たさなければならない。
9-2　プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキンは、主催団体が用意するものとする。
9-3　主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないかまたは失格となる。

10　競技規則

10-1　200m障害物スイム（男女）、50mマネキンキャリー（男女）、100mレスキューメドレー（男女）、100mマネキンキャリー・ウィズフィン（男女）、100mマネキントウ・ウィズフィン（男女）、200mスーパーライフセーバー（男女）、4×50m障害物リレー（男女）、ラインスロー（男女）については、競技進行上、時間的な制限により、タイム決勝（予選を行わず、決勝のみ）で行う。
10-2　本競技会のスタート方法は、１回制（１スタートルール）とする。
10-3　SERC 種目は、1 分 30 秒間で実施する。
10-4　チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められない。
10-5　大会記録についても、日本記録と同じ種目とする。

11　認定審判員の選出

11-1　参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない
選手 5～20 名＝認定審判員１名、21～40 名＝2 名、41 名以上＝3 名とする。また、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代わりの者を選出すること。
11-2　参加する審判員は、別紙審判員・スタッフ参加募集要項の「審判員・スタッフ参加申込書」に必要事項を記入し申し込むこと。
11-3　2 名以上選出するチームは「審判員・スタッフ参加申込書」をコピーして提出すること。
11-4　選出する審判員は、C 級認定審判員資格以上を取得し、選手として登録していないこと。
11-5　選出する審判員は 2 日間を通じて参加できること。
11-6　参加に関わる交通費、朝食、昼食は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。

12　競技補助員の選出

12-1　SERC 種目参加チームは、SERC 種目の競技補助員を 1 名選出しなければならない。また、何かの理由で競技補助員が参加できなくなった場合は、必ず代わりの者を選出すること。
12-2　競技補助員は、登録選手や審判員以外から選出することが望ましいが、止むを得ぬ場合は SERC 種目出場以外の選手や審判員と兼ねることができるものとする。
12-3　競技補助員の参加に関わる昼食は主催者が負担し、交通費、宿泊費は各参加クラブが負担する。

13　その他

13-1　大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
13-2　大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
13-3　大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

以上